

---

**User's  
Manual**

**Model SU1004A  
AQ2160-01  
光パワーメータ  
ユーザーズマニュアル**

---

# 目次

1. はじめに	1
2. 本製品の特徴	1
3. 保証について	1
4. 梱包内容のご確認	1
5. 本製品を安全にご使用いただくために	2
6. 仕様	7
7. 定期校正	8
8. 各部の名称と機能	9
9. ネックストラップの取り付け方法	11
10. 操作方法	11
11. 取り扱い上の注意	15
12. 故障かなと思われる前に	17

## 付図

・AQ2160-01 光パワーメータ 外観図	18
------------------------	----

## 1. はじめに

このたびは、AQ2160-01光パワーメータをご購入いただきましてありがとうございます。この取扱説明書は、本製品の機能、操作方法、取り扱い上の注意などについて説明したものです。ご使用前によくお読みいただき、正しくお使いください。お読みになったあとは、ご使用時にすぐにご覧になれるところに、大切に保存してください。

---

## 2. 本製品の特徴

AQ2160-01は、光ファイバ(\*1)工事における敷設チェック等の光信号パワーを測定するための光パワーメータです。測定波長は、850nm、1310nm、1550nmに対応し、バックライトや、パワーセーブ、バッテリーチェックなど、各種機能を有しております。小型・軽量でバッテリー駆動の本製品はフィールドで威力を発揮します。

(\*1) 光ファイバは、シングルモード: SM(9/125  $\mu$ m)、マルチモード:

GI(50/125  $\mu$ m)、GI(62.5/125  $\mu$ m)に対応します。

光コネクタは、SCコネクタ、FCコネクタのいずれかに対応します。

(ご注文時に指定していただいたもの。)

---

## 3. 保証について

当社の製品は当社品質保証システムに基づき厳格な検査を経て出荷されていますが、万一、製造上の不備や出荷輸送中の事故、正常な使用状態において故障等が発生した場合には、お買い求め先にご連絡ください。本製品の保証期間は、納入日から1年以内とさせていただきます、保証期間におきた故障については無償交換させていただきます。なお、操作上のミス、お客さまによる改造・変更に起因する故障、天災等による故障・損傷は保証から除外させていただきます。また、本製品の保証は日本国内に限定させていただきます。

---

## 4. 梱包内容のご確認

ご使用前に以下のことをご確認ください。万一、お届けした品の間違いや品不足、または外観に異常が認められる場合には、お買い求め先にご連絡ください。本製品はAQ2160-01光パワーメータ本体と、標準添付品一覧表に示す付属品により構成されています。(梱包箱は保管されることをおすすめします。本製品を輸送される際にお役に立ちます。)

●標準添付品一覧表

No.	添付品名	数量
1	取扱説明書	1
2	単3形乾電池(アルカリ)	2
3	ネックストラップ	1
4	キャリングポーチ	1

オプション(別売品)として次のものがあります。お問い合わせやご注文は、お買い求め先までご連絡ください。

●オプション(別売品)

No.	品名	形名	仕様
1	プロテクタ	SU2002A	(AQ2160シリーズ用)
2	ACアダプタ	SU2007A-M -C -F -G -J	PSE対応タイプ(2ピン) UL/CSA標準タイプ(UL2P) VDE標準タイプ(GEE-C2) AS標準タイプ(AS2P) BS標準タイプ(BS2P)角
3	ソフトキャリングケース	SU2006A	

5. 本製品を安全にご使用いただくために

この「本製品を安全にご使用いただくために」は、お使いになる方やほかの方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための内容を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。この取扱説明書で指定していない方法で使用すると、本製品の保護機能が損なわれることがあります。なお、これらの注意に反したご使用により生じた障害については、責任と保証を負いかねます。

●次の表示区分は、表示内容を守らずに、誤った使用をした場合に生じる危険や損害の程度を説明しています。

 <b>危険</b>	死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
 <b>警告</b>	死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

 <b>注意</b>	障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容です。
---	--------------------------------------

● 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

	禁止(してはいけないこと)を示します。	
	分解してはいけないことを示す記号です。	 水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。	
	強制(必ず実行していただくこと)を示します。	 電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。



取扱説明書をよくお読みいただき、指定した手順によりお使いください。



警告マーク(「注意」「警告」「危険」)表示がある場合には、取扱説明書の指示にしたがってお使いください。

## 危険

	本製品をAC電源にてご使用の際には、必ず本製品専用ACアダプタをご使用ください。また、本製品専用のACアダプタを他の機器に使用することは故障や事故につながりますので絶対にお止めください。⇒火災・感電・事故の原因となります。
	規定の電源以外で使用しないでください。また、表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。⇒火災・感電・事故の原因となります。
	商用電源と接続する場合は、専用コンセントへ直接接続してください。 延長コードは加熱・発火の危険があるので使わないでください。
	電源コードを熱器具に近付けないでください。 ⇒コードの被覆が破れて、火災・感電の原因となります。

	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。 ⇒火災・感電の原因となります。
	使用済みの電池は火中に投げ入れないでください。 ⇒爆発して火災・やけどの原因となります。
	開口部から内部に金属棒を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。 ⇒火災・感電・事故の原因となります。
	本製品で使用している受光素子には、インジウムガリウムヒ素 (InGaAs) が含まれています。InGaAsの粉末や蒸気は危険です。焼却、破壊、切断、粉碎や化学的な分解を行わないでください。本製品は、一般産業廃棄物や、家庭用ゴミから分別し、関係法令に従って廃棄処理を行ってください。



## 警告

	電源の接続はタコ足配線にしないでください。 ⇒ケーブルの加熱・火災の原因となります。
	無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。 ⇒火災・感電の原因となります。
	電源コードが傷んだ場合には、お買い求め先に交換をご依頼ください。 ⇒そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 ⇒感電の原因となります。
	電源プラグは、コンセントに確実に差し込んでください。 ⇒電源プラグに金属等が触れますと火災・感電の原因となります。
	電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。 ⇒電源コードを引っ張ると、コードが傷ついて火災・感電の原因となります。
	移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認の上、行ってください。 ⇒コードが傷つき、火災・感電の原因となります。

	<p>長時間に渡って本製品をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、雷のときにも、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。</p>
	<p>本製品で指定していない電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混用しないでください。 ⇒電池の破裂、液漏れにより、火災・怪我や周囲を汚染する原因となります。</p>
	<p>電池は極性表示(プラスとマイナスの向き)を確認してから挿入して下さい。 ⇒間違えますと、電池の破裂、液漏れにより、火災・怪我や周囲を汚染する原因となります。</p>
	<p>湿気やほこりの多い場所に置かないでください。 ⇒感電・故障の原因となります。</p>
	<p>ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所に置かないでください。 ⇒落ちたり、倒れたりして、怪我の原因となります。</p>
	<p>振動・衝撃の多い場所に置かないでください。 ⇒落ちたり、倒れたりして、怪我の原因となります。</p>
	<p>本製品の上や近くに水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。 ⇒こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電・故障の原因となります。</p>
	<p>本製品に水が入ったりしないよう、また、濡らさないようご注意ください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。</p>
	<p>万一、煙が出ている、変な臭いがする、液晶が表示しない(動作しない)などの異常状態のまま放置すると、火災・感電・故障の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、その後、必ず電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して、お買い求め先にご連絡ください。お客様による修理は危険ですから、絶対におやめください。</p>

	万一、本製品を落としたり、破損したりした場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い求め先にご連絡ください。
	万一、本製品が異常となっても、お客様での修理はおやめください。 ⇒感電、怪我の原因になります。また、無断修理されたものは弊社保証の範囲外となります。
	本製品を分解・改造しないでください。 ⇒火災・感電・事故の原因となります。
	光源に接続された光ファイバ、光コネクタなどの取り扱いにおいては、危険なレーザ放射などの被爆をもたらし、眼に障害を受ける危険性がありますので、充分注意をしてください。



## 注意

	直射日光の当たる所や炎天下における自動車内など、温度の高い所に置かないでください。 ⇒内部の温度が上がり、故障の原因となります。
	ストラップなどを持って振り回さないでください。 ⇒けがなどの事故や破損の原因となります。
	ストラップを首にかけて使用する場合は、首吊りなどの事故に注意してください。
	電池の交換時など開閉部を閉めるときは、指の挟み、指の怪我に注意してください。

## 6. 仕様

波長設定	850nm／1310nm／1550nm
基準波長	1310nm
受光素子	InGaAs(φ 1mm)
適合ファイバ	SM(9/125 μm) ,GI(50/125 μm),GI(62.5/125 μm)ファイバ
入力形式	SCコネクタ、またはFCコネクタ(注文時に指定)
パワーレンジ	-70dBm～+5dBm
ノイズレベル	-60dBm
確度 <sup>注1)</sup>	±5%
測定値表示	7セグメント4桁 バックライト付
単位表示	dBm(絶対値)
レンジ	自動
測定モード	CW光
測定インターバル	約330ms
分解能	0.01(>-60dBm)、0.1(≤-60dBm)
バックライト	バックライトキーを押している間、またはキーを離してから約5秒間点灯
パワーセーブ	キー操作しなくなってから10分後、自動的に電源オフ(パワーセーブ機能のOFFも選択可)
バッテリーチェック	ローバッテリーアラームの表示
レジューム機能 <sup>注2)</sup>	電源OFF時の設定条件を再現
安全・EMC	安全:EN61010-1(2010/12/1以降は不適合) EMC:EN61326-1 ClassB, Table2(工業立地用)
電源	単3形電池2本(アルカリ乾電池、ニッケル水素充電電池) ACアダプタ(AC 100～240V, 50/60Hz)(オプション) <sup>注3)</sup>
環境条件	動作温度:0～+50°C、保存温度:-25～+70°C、 湿度:85%以下(結露の無きこと)
防滴	JIS C 0920 防滴 I 型及びIEC60529 IPX1に準拠 (光コネクタ保護キャップ、DCコネクタキャップ装着時)
寸法・質量	約152(H)×70(W)×32(D)mm 約270g(電池含む)

注1) Ta=23±5°C、基準条件(@1310nm、-20dBm)にて

注2) 操作中に電池の外れ、ACアダプタのプラグの抜け無きこと。また、ローバッテリーアラーム表示中のレジューム機能は保証しません。

注3) AQ2160-01に接続する場合は、0～+50°Cの温度範囲で御使用下さい。  
(ただしACアダプタの安全規格上の使用温度範囲は0～40°Cです。)

---

## 7. 定期校正

定期校正は、機器の性能を正常な状態で長時間にわたって維持し、故障の早期発見をするために有効な手段です。

本製品については、1年に1回の割合で定期校正をすることを推奨いたします。

### BCP( ベストコンディションプラン) について

2006年10月1日以降にBCP 契約付きでご購入いただいた製品を対象に、BCP サービスをご提供させていただきます。BCP サービスを受けるためには、ホームページからお客様登録していただく必要があります。

BCP 契約付き製品をご購入いただいたお客様には、製品とは別に「登録ガイド」をお送りいたします。「登録ガイド」には、お客様登録に必要な情報が記載されていますので、ガイドに従って登録いただきますよう、お願いいたします。

登録していただいたお客様に、BCP サービスに必要な「サービスガイド」をお送りいたします。

万一、「登録ガイド」または「サービスガイド」がお手元に届かない場合は、お買い求め先にお問い合わせください。

## 8. 各部の名称と機能

### ■電源キー(電源)

- 電源 OFF→ON の操作  
電源の供給源が電池の場合は、キーを押すとパワーセーブ機能を設定した状態で起動します。

パワーセーブ表示が消えるまで長押しするとパワーセーブ機能を解除した状態で起動します。

供給源が AC アダプタの場合は、パワーセーブ機能を解除した状態で起動します。

- 電源 ON→OFF の操作  
液晶表示が消えるまでキーを押すと電源がオフします。

### ■波長切替キー(波長切替)

測定波長の切り替えを行います。1回押すごとに 850nm → 1310nm → 1550nm → 850nm と切り替わります。

### ■AC アダプタ端子

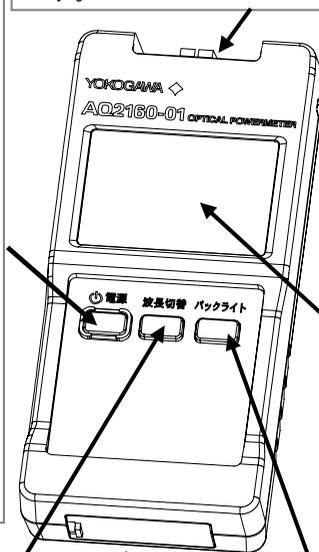
キャップを開いて AC アダプタ(オプション)を接続します。

### ■光入力コネクタ

光パワーを入力する光学的接続部です。コネクタ保護キャップをはずして、接続してください。光コネクタは、SCコネクタとFCコネクタのいずれかに対応します。

### ■ストラップ取り付け穴

ネックストラップ、コネクタ保護キャップ固定ひもを取り付けます。(本体の両サイドにあります。)



### ■表示器

測定データや各種表示を行います。⇒P10

### ■バックライトキー(バックライト)

- 点灯操作  
消灯時にキーを押すとバックライトが5秒間点灯します。また、押しつづけている間はバックライトが点灯しつづけます。
- 消灯操作  
電源の供給源が電池の場合は点灯後、キーを離してから約5秒後にバックライトは自動で消灯しますが、供給源が AC アダプタの場合は、自動消灯しません。再度、キーを押すと消灯します。

### ■パワーセーブ設定

パワーセーブが設定された時に表示します。

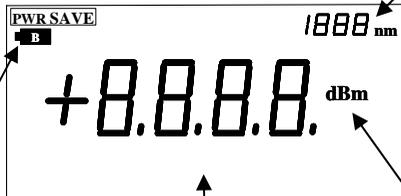
(P9 電源キー参照)

関連キー:  電源

### ■波長設定

設定された波長 (nm) を表示します。

関連キー: 波長切替



### ■ローバッテリーアラーム

(電池マーク)

バッテリーの残量が機能を満たすのに不十分となった時に点滅します。

ローバッテリーアラームが点滅した場合は、すぐに新しい電池と交換してください。

### ■測定値、エラー表示

測定値やオーバー／アンダーレンジのエラーを表示します。⇒表示例

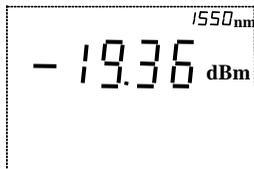
### ■測定値単位

測定値の単位 (dBm) を表示します。

## ■ 表示例

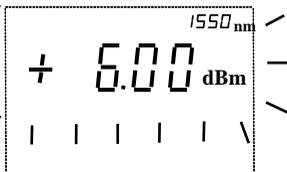
### ●測定値表示

1550nm の波長レンジにおいて、-19.36dBm を表示しています。



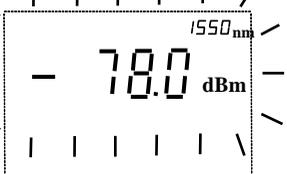
### ●オーバーレンジエラー

測定している光パワーが測定可能範囲の最大値を超えた場合に、プラス数値の点滅表示を行いオーバーレンジであることを知らせています。



### ●アンダーレンジエラー

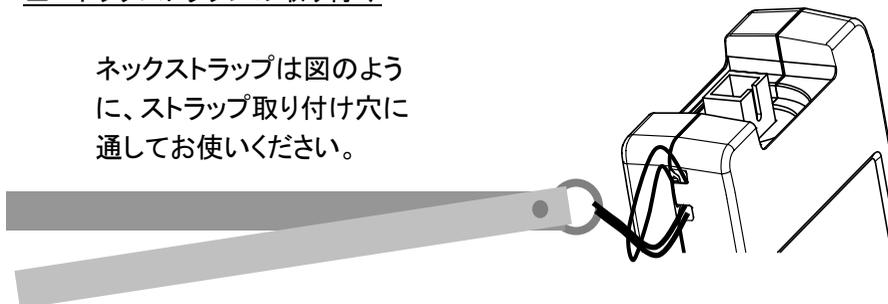
測定している光パワーが測定可能範囲の最小値を下回った場合に、マイナス数値の点滅表示を行いアンダーレンジであることを知らせています。



## 9. ネックストラップの取り付け方法

### ■ ネックストラップの取り付け

ネックストラップは図のように、ストラップ取り付け穴に通してお使いください。

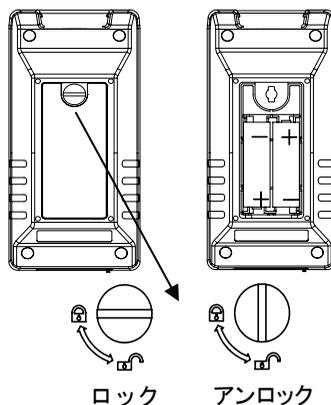


- ⊘ ストラップなどを持って振り回さないでください。けがなどの事故や破損の原因となります。また、ストラップを首にかけて使用する場合は、首吊りなどの事故に注意してください。

## 10. 操作方法

### ■ 電池の取り付け

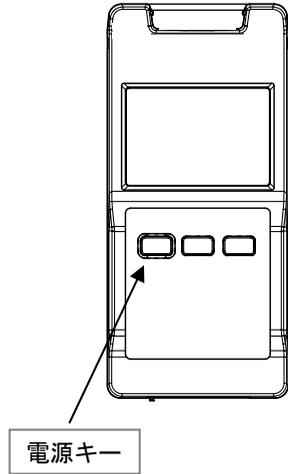
背面にあるネジをコイン等で回し、カバーをはずして電池を実装します。ネジは図のように回転させることで、ロック／アンロックとなります。



- ⚠ 電池ホルダーには、単3形電池2本を内部の極性マークに従って実装し、必ずカバーをしてください。
- ⚠ ローバッテリーアラームが点滅した場合は、すぐに新しい電池と交換してください。アルカリ単三乾電池の場合の動作時間は約40時間です。（動作条件により異なります。）

## ■ 電源を入れる

- パワーセーブモードで起動  
電源キーを押すとパワーセーブ機能を設定した状態で起動します。
- パワーセーブモードを解除した状態で起動  
キーをパワーセーブ表示が消えるまで長押しするとパワーセーブ機能を解除した状態で起動します。



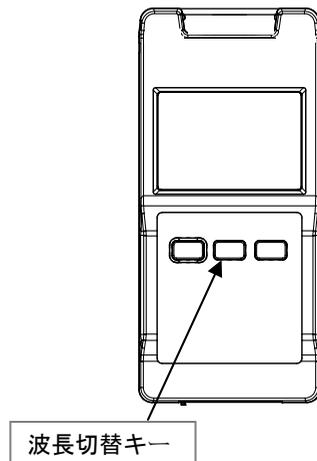
パワーセーブモードで10分間何もキーが押されなければ、パワーオフします。ただし、ACアダプタ接続時にはパワーセーブモードは無効となります。

- 本製品は、電源投入時に零点調整を行います。  
低レベル測定(−50dBm以下)の際には、温度変化等の影響を排除するために、測定前に電源を再投入して零点調整を行うことをお勧めします。なお、零点調整時に遮光の必要はありません。

## ■ 波長設定

測定する光の波長を設定します。  
波長切替キーを1回押すごとに  
850nm→1310nm→1550nm→  
850nmと順に切り替わります。

直前の波長設定が、電源をOFFにしても記憶されます。(レジューム機能)



## ■ 光コネクタの接続

光入力コネクタ保護キャップをはずして、コネクタを奥までしっかりと差し込みます。接続が完全でない場合、測定が正しくできません。

### ●光コネクタ

SCコネクタ対応用とFCコネクタ対応用があります。

ご注文時の選択となり、コネクタの交換はできません。



必ず製品に対応した光コネクタを接続してください。  
また、接続前に端面を清掃して下さい。

### ●光ファイバ

以下の光ファイバに対応します。

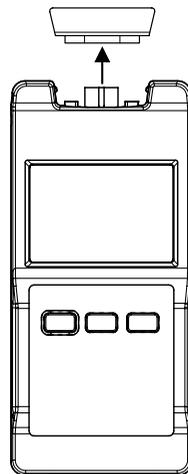
シングルモード: SM(9/125  $\mu$ m)、

マルチモード: GI(50/125  $\mu$ m)、GI(62.5/125  $\mu$ m)

### ●フェルルール

PC研磨、FLAT研磨に対応します。

斜め研磨 (AngledPC) は性能保証外とさせていただきます。



### ※APC (AngledPC) ファイバの対応について

AngledPCコネクタの先端形状には複数のタイプがあり、測定値は先端形状に依存することから、AngledPCコネクタを使用する場合は性能保証外とさせていただきます。

ただし、シングルモードファイバにおいて8度AngledPCコネクタとPCコネクタとの間で測定値がほぼ同等であることは確認しております。



裸ファイバアダプタをご使用の場合には、フェルルール端面よりファイバが突出しないように十分注意してください。突出したファイバにより光入力部に損傷を与えると測定に異常をきたす場合があります。



光パワー測定範囲外の過大な光は、受光素子が破損する恐れがありますので入射しないでください。



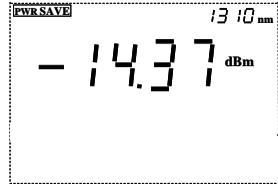
本製品を使用しない際には、光入力コネクタ保護キャップをつけて、ゴミや埃などからコネクタを保護してください。



光源に接続された光ファイバ、光コネクタの端面をのぞき込むと、レーザー放射などにより、眼に障害を受ける危険性がありますので、絶対にのぞき込まないでください。

## ■ 測定値を読む

右の図は、パワーセーブモードで起動させ、波長設定を1310nmに設定して測定した時の表示器の例です。測定値は-14.37dBmを示しております。



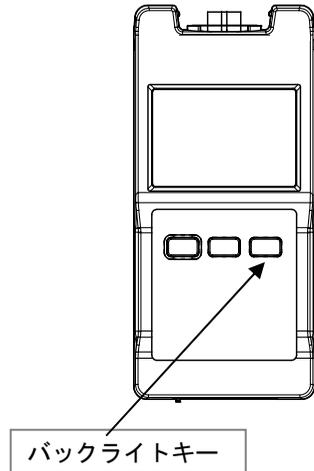
## ■ バックライト機能を使う

### ● 点灯操作

消灯時にキーを押すとバックライトが5秒間点灯します。また、押しつづけている間はバックライトが点灯しつづけます。

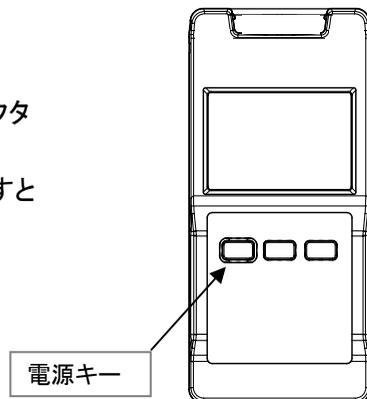
### ● 消灯操作

電源の供給源が電池の場合は点灯後、バックライトキーを離してから5秒後にバックライトは自動で消灯しますが、供給源がACアダプタの場合は自動消灯しません。再度キーを押すと消灯します。



## ■ 電源を切る

光コネクタをはずし、光入力コネクタ保護キャップを装着します。液晶表示が消えるまでキーを押すと電源がオフします。



---

## 11. 取り扱い上の注意

ここでは、本製品の使用上の注意事項について記述してあります。本製品には超精密加工を施した光学部品を使用しております。本製品の性能を保証するために、以下に示すように取り扱いには十分な注意をお願いします。

### ■本製品使用上の注意事項

- 1) 落下させるなど過度の衝撃を与えないでください。本製品はプラスチックカバーで覆ってありますが、内部には光学部品などを搭載しておりますので破損の恐れがあります。
- 2) 直射日光下の車の中など、高温または多湿の環境下に長時間放置しないでください。
- 3) 強力な電波、磁界を放射するものの近くに、置かないでください。誤動作の原因になります。
- 4) 本製品と携帯電話を近接して同時に使用しないで下さい。
- 5) 本製品はハンディ型であり、電池駆動時には屋外での使用も可能ですが、防水構造とはなっていません。雨天下の作業時などには濡らさぬようご注意ください。
- 6) 本製品を分解しないでください。
- 7) 本製品にはSCコネクタ対応用とFCコネクタ対応用があります。必ず製品に対応した光コネクタを接続してください。無理に取り付けようとすると、光入力部を破損する恐れがあります。
- 8) 光源に接続された光ファイバ、光コネクタの端面をのぞき込むと、レーザー放射により、眼に障害を受ける危険性がありますので、絶対にのぞき込まないでください。
- 9) 斜め研磨フェルールの光コネクタを使った光ファイバを接続しないでください。光入力部を破損する恐れがあります。
- 10) 光パワー測定範囲外の過大な光は、受光素子が破損する恐れがありますので入射しないでください。特に低デューティ、高尖頭のパルス光は、測定値上では光平均パワーとなり低く表示される場合がありますのでご注意ください。
- 11) 光入力コネクタに接続する光コネクタに損傷や汚れ等がありますと、本製品の性能を満足することができません。また、最悪の場合、本製品の光学接続部に損傷を与える場合があります。
- 12) 光コネクタを取り付ける際には、光入力端面を傷つけないように充分注意してください。

- 
- 13) 本製品を使用しない際には、光入力コネクタ保護キャップをつけて、ゴミや埃などからコネクタを保護してください。
  - 14) ゴミや埃などで光入力端面やコネクタが汚れている場合には、市販のファイバークリーナーにて清掃を行ってください。

#### ■電池使用上の注意事項

- 1) 電池ホルダーの＋端子が汚れると、接触が悪くなり、電源が切れたりすることがあります。汚れたら乾いた布でふき、＋端子をきれいにしてお使いください。
- 2) 電池は雨水・海水等の水に濡らさないでください。また、強い衝撃を与えないでください。
- 3) 電池の＋端子を金属などでショートさせると、大電流が流れて電池が破損したり、発熱したりしますので取扱いには十分注意してください。
- 4) 電池を分解したり、火の中に投げ入れたりすることは非常に危険ですので絶対にしないでください。
- 5) 不要となった電池を一般のゴミと一緒に捨てないでください。(電池を分別廃棄している市町村がありますが、その場合は市町村の条例に基づいて廃棄してください。)
- 6) 電池は、極性表示をよく確認してから本体の電池ホルダーに実装してください。極性を誤って実装した場合、本製品を破損する場合があります。
- 7) 長期間使用されない場合は、電池を外しておいてください。電池の液漏れにより本製品を破損する場合があります。
- 8) 本製品には充電機能はありません。ニッケル水素充電電池の充電には別途専用の充電器をお客様でご用意下さい。
- 9) 本製品の使用にあたっては、お使いになる電池の使用条件に合った方法で行ってください。

#### ■ACアダプタ使用上の注意事項

- 1) 製品専用のACアダプタ及びACアダプタと同梱の各国要求に適合した電源ケーブルを使用して下さい。
- 2) 電源ケーブルをACアダプタのインレットプラグに確実に接続し、DC5V出力ケーブルを本製品のACアダプタ端子に確実に接続してください。
- 3) 専用ACアダプタ／電源ケーブル以外のご使用は、事故の原因となりますので絶対におやめください。

- 
- 4)室内でのみご使用下さい。AQ2160-01に接続する場合は、0～+50℃の温度範囲でご使用下さい。  
(ただしACアダプタの安全規格上の使用温度範囲は0～40℃です。)

## 12. 故障かなと思われる前に

ここでは、思ったとおりに動作しない時に確認していただきたい項目を記述してあります。

### ■電源を入れても動作しない

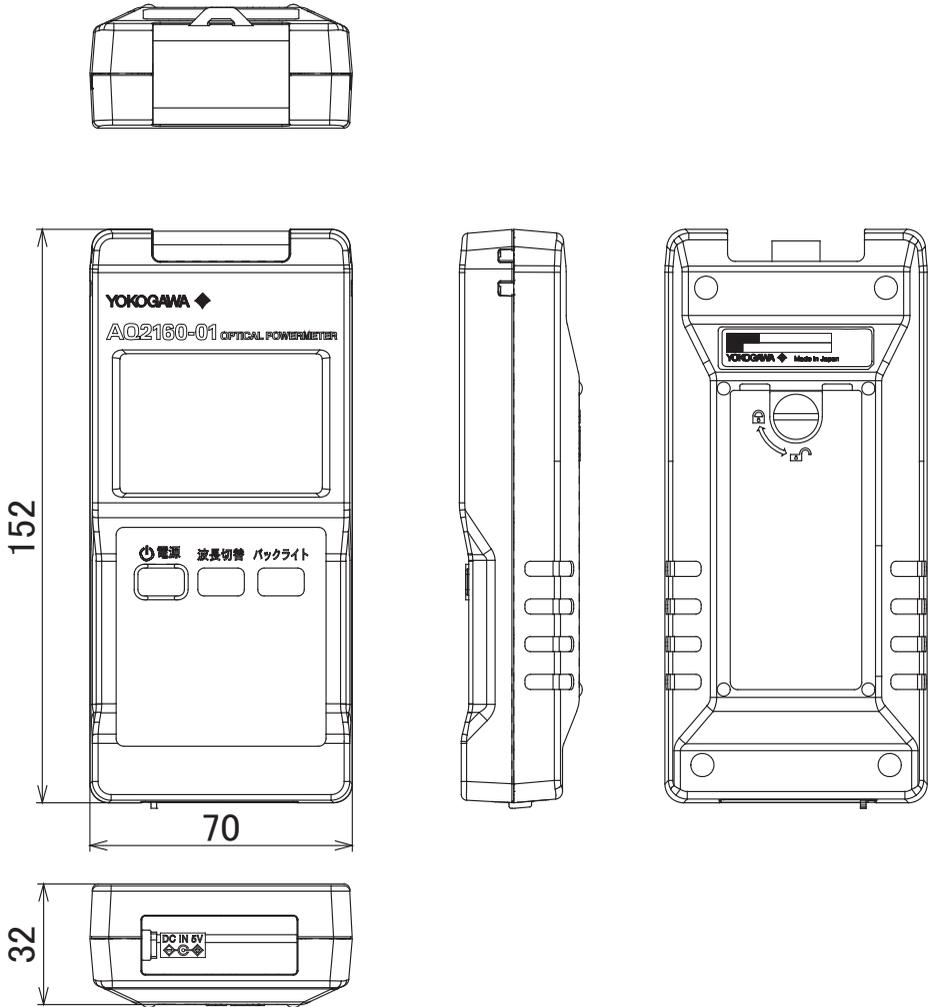
- 1)適正な電池が正しく入っていますか？  
→単3形のアルカリ乾電池かニッケル水素充電機をご使用ください。  
→極性を確認してください。
- 2)古い電池を使用していませんか？  
→電池は2本まとめて交換してください。  
(新旧の混用は液漏れを起こし本製品の破損にもつながります。)
- 3)ACアダプタ(オプション)の電源コードは正しく接続されていますか？
- 4)本製品専用のACアダプタを使用していますか？  
→専用ACアダプタ／電源ケーブル以外のご使用は、事故の原因となりますので絶対におやめください。

### ■正常な測定値が表示されない

- 1)測定している波長と本製品の波長設定が合っていますか？  
→波長切替キーにて測定波長に合わせてください。
- 2)光コネクタ(光ファイバ)は正しく接続されていますか？  
→接続状態をご確認ください。SCコネクタはロックが掛かるよう奥まで、FCコネクタは固定リングを最後まで締めてください。  
接続が完全でない場合、測定が正しくできません。
- 3)接続される光コネクタのファイバ端面に損傷や汚れはありませんか？  
→光コネクタ専用クリーナで清掃してください。端面に傷が付いているファイバは誤測定の原因となりますので使用しないでください。

### ■起動時にバックライトが自動点灯したままになる

- 本製品の自己診断機能により製品内部でErr判定をしています。  
→お買い求め先に修理をご依頼ください。  
お客様による修理は危険ですから、絶対におやめください。

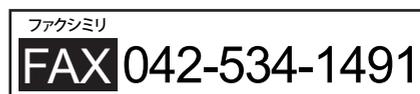


AQ2160-01 光パワーメータ 外観図

## 計測相談のご案内

当社では、お客様に正しい計測をしていただけるよう、当社計測器製品の仕様、機種を選定、および応用に関するご相談を下記CSセンターにて承っております。なお、価格や納期などの販売に関する内容については、最寄りの営業、代理店にお問い合わせください。

横河メータ & インストルメンツ株式会社 カスタマサポートセンター



【フリーダイヤル受付時間：祝祭日を除く月～金曜日の9：00～12：00、13：00～17：00】

メールアドレス

一般測定器 [tmi-cs@csv.yokogawa.co.jp](mailto:tmi-cs@csv.yokogawa.co.jp)  
現場測定器 [csgr@mcc.yokogawa.co.jp](mailto:csgr@mcc.yokogawa.co.jp)